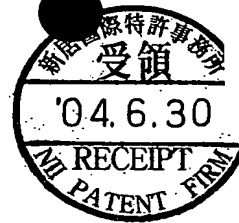


特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際予備審査機関)



The 2nd Written  
Opinion mailed  
on June 29, 2004

出願人代理人 新居 広守	様
あて名	
〒 532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3丁目11番26号 新大阪末広センタービル3F 新居国際特許事務所	

PCT  
国際予備審査機関の見解書  
(法第13条)  
[PCT規則66]

発送日 (日.月.年) 29.6.2004	
出願人又は代理人 の書類記号 P32570-P0	応答期間 上記発送日から 2 月以内
国際出願番号 PCT/JPO3/14776	国際出願日 (日.月.年) 20.11.2003
優先日 (日.月.年) 22.11.2002	
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. G06F17/60	
出願人 (氏名又は名称) 松下電器産業株式会社	

1. ☐ 国際調査機関の作成した見解書は、国際予備審査機関の見解書と ☐ みなされる。  
☐ みなされない。

2. この 2 回目の見解書は、次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 見解の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 法第13条 (PCT規則66.2(a)(ii)) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

3. 出願人は、この見解書に応答することが求められる。  
いつ? 上記応答期間を参照すること。この応答期間に間に合わないときは、出願人は、法第13条 (PCT規則66.2(e)) に規定するとおり、その期間の経過前に国際予備審査機関に期間延長を請求することができる。ただし、期間延長が認められるのは合理的な理由があり、かつスケジュールに余裕がある場合に限られることに注意されたい。

どのように? 法第13条 (PCT規則66.3) の規定に従い、答弁書及び必要な場合には、補正書を提出する。補正書の様式及び言語については、法施行規則第62条 (PCT規則66.8及び66.9) を参照すること。

なお 補正書を提出する追加の機会については、法施行規則第61条の2 (PCT規則66.4) を参照すること。補正書及び/又は答弁書の審査官による考慮については、PCT規則66.4の2を参照すること。審査官との非公式の連絡については、PCT規則66.6を参照すること。

応答がないときは、国際予備審査報告は、この見解書に基づき作成される。

4. 特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第2章) 作成の最終期限は、  
PCT規則69.2の規定により 22.03.2005 である。

名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 小太刀 慶明	5 L	2942
電話番号 03-3581-1101 内線 3562			

様式PCT/IPEA/408 (表紙) (2004年1月)

(添付用紙の注意書きを参照)

ATTACHMENT L

## 第I欄 見解の基礎

1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。

☐ この見解書は、\_\_\_\_\_語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査

☐ PCT規則12.4にいう国際公開

☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この見解書は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に回答するために提出された差替え用紙は、この見解書において「出願時」とする。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ 項、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この見解書は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第13条(PCT規則66.2(a)(ii))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1-21	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1-21	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-21	有
	請求の範囲		無

## 2. 文献及び説明

新たに追加した、

文献1: JP 2002-184157 A(シャープ株式会社)2002.06.28, 全文, 図1-88  
& EP 1189437 A2 & US 2002-59584 A1

文献2: WO 2002/041176 A(BRITISH TELECOMMUNICATIONS PUBLIC LIMITED COMPANY)2002.05.23, 全文, 図1-8 & JP 2004-514217 A

請求の範囲 1-21

文献1には、ユーザ毎の、テレビ、ホームステレオ、インターネット放送等のこれまでの視聴や機器操作の慣習、使用パターン及び履歴を記録し、それに基づいてユーザの所望するサービスを提供することが記載されている。

文献2には、ユーザにとって関心のある主題事項を提示するプロフィールを変更する方法において、観察されたユーザアクセスのパターンを1又はそれ以上の所定のパターンと比較することが記載されている。

文献1に文献2を組み合わせることは、当業者であれば容易になし得たことであるから、請求の範囲1-21は進歩性を有しない。



REPLY

To: Examiner of the Patent Office

1. Identification of the International Application

PCT/JP03/14776

2. Applicant

Name: MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

Address: 1006, Oaza Kadoma, Kadoma-shi, Osaka 5718501

Japan

Country of nationality: JAPAN

Country of residence: JAPAN

3. Agent

Name : (10921) NII, Hiromori

Address: c/o NII Patent Firm, 3<sup>rd</sup> Floor, Shin-Osaka Suehiro  
Center Bldg., 11-26, Nishinakajima 3-chome, Yodogawa-ku,  
Osaka-shi, Osaka 5320011 Japan

4. Date of Notification: 29.06.2004

5. Subject Matter of Reply

(1) Amendment

In order to clarify the details of the present invention, the scope of the claims has been amended in the amendment to be submitted along with this reply. Concretely, in the scope of the claims 1 and the like, it has been clarified that "a frequent operation pattern" is "a sequence of frequent operation histories". Such amendment as described above remains within the scope as described in the original description (from the 25<sup>th</sup> line on page 15 to the 19<sup>th</sup> line on page 16 in the description, FIGS. 12 to 14 and the like). Thus, no new matter has

been added.

#### (2) Cited Reference 1

The cited reference 1 discloses a technique in which: viewing and browsing histories of various contents are accumulated; the accumulated histories are converted into "user's favorite information"; and contents are selected based on the "user's favorite information" (see [0242] in the description and the like).

On the other hand, according to the present invention as described in the claim 1, accumulated "user's favorite information" is not converted into different information, but (i) user's behavior is predicted from "frequent operation patterns which are sequences of frequent operation histories", and (ii) service according to the predicted user's behavior is provided, for example, by predicting the next operation or the next content from the operation sequence currently being observed. Thus, the present invention differs from the cited reference 1 with respect to information used for selecting contents and selecting method.

#### (3) Cited Reference 2

The cited reference 2 discloses a technique in which it is judged whether or not to determine updating user's profile by monitoring patterns and comparing the patterns with other patterns. However, the cited reference 2 only discloses patterns in view of access frequency and access time as "patterns of accessing (information)" such as (i) how many times in three days related information is accessed and (ii) how much time is spent for accessing the related information.

On the other hand, according to the present invention, "an operation pattern" is "a device operation pattern in chronological order", and for example, a device operation pattern in chronological order of the following (i)→(ii) →(iii) as described in FIG. 13: (i) TV-PowerON, (ii) TV-Play, and (iii) AirConditioner-PowerOn. And, service is provided based on the above mentioned device operation pattern in chronological order.

#### (4) Summary

As described above, the cited references 1 and 2 do not disclose nor indicate the characteristic of the present invention, that is, providing service based on the frequent operation patterns which are

the sequences of frequent device operations. The present invention has particular effects such as that due to the above mentioned characteristic, a series of operations frequently performed on device become unnecessary. Consequently, the applicant believes that patentability of the present invention cannot be denied based on the cited references 1 and 2.